



中韓露に物申す

バラマキ止め、先を考えた投資を

安倍総裁に2つの期待

9月26日、自民党総裁選が行われ安倍晋三新総裁が選出されました。当初の下馬評を覆しての逆転勝利です。推薦人として支えてきた私は安倍さんに2つのことを期待しています。

現在、国際法的にも歴史的にも我が国固有の領土である尖閣諸島や竹島、北方領土で周辺諸国の不法な侵犯活動が活発になっていく。これら領土、領海に関する問題について中国、韓国、ロシアに対して強い姿勢ではっきりものを言

ってもらいたい。
今年9月頃から、尖閣諸島周辺には中国から漁船がたびたび侵入しています。また竹島には8月10日に韓国の李明博大統領が上陸しています。内政に対する批判をかわすパフォーマンス、という側面もあるようですが、これらは民主党政権が煮え切らない態度を取り続けるから、つけ込まれている。

また日米関係も普天間基地問題を通じてギクシャクしてしまいました。安倍さんであればアメリカ追従でなく、日米を対等な立場に修復できる」と期待しています。

▶総裁選出陣式にて、日本をどん底から立ち直らせるのは、一度挫折を経験した安倍先生しかない、落選で同じく地獄を見た私だからわかる、そうはつきり申し上げました

▶「安倍候補へ是非投票を」10台の電話と最強の城内みのる後援会女性部による総裁選での電話作戦演説の機会をいただきました

▶秋葉原駅前に5000人入るの投票。もちろん2度とも「安倍晋三」と書きましました

▶総裁選、緊張の投票。もちろん2度とも「安倍晋三」と書きましました



最新情報はこちら!

城内みのるオフィシャルサイト

携帯電話でもご覧いただけます

<http://www.m-kiuchi.com>



豊かな自然と匠のまち 新しい産業リードしたい

私の地元の浜松・湖西は産業技術の都市です。スズキ、ヤマハはもちろん、ホンダの創業地もそう。トヨタの創業者・豊田佐吉さんの出身地も現湖西市です。世界に名だたる企業が立地しています。またオンリーワンの技術を誇る

エネルギー資源のバイオマスに。遠州灘では天然ガス資源のメタンハイドレートを掘削。また浜松・湖西は日照時間で日本一になることもあり、太陽光発電にも魅力的な土地です。県内に浜岡原発がありますが、原子力に代わるエネルギーとして注目されています。そんな豊かな自然と匠の技術。日本再生のためには、第

一次産業とともに、中小企業もしっかり守っていくことが必要です。私は新しい21世紀型の産業構造転換をこの地でリードしていきたい。それが地元の国会議員としての責務と考えています。6月30日のパーティーでは1800人の方が集まってくれました。未来への可能性を秘めたふるさどで、私は日本一の後援会を目指していきます。



祖母が生まれ育った佐久間町西渡の浜背負い祭りにて地元の子どもたちと。この笑顔を守るために頑張ります



同じく浜背負い祭りにて。地元の皆さんと練り歩き



引佐久留女木の棚田での田植えの前に記念撮影。小さな苗が成長して私たち日本人の食を支えています。自然の恵みと農業者の皆さんのお仕事にいつも感謝しています



平成24年5月には1000人以上にお集まりいただいた「女性の会」で小淵優子先生に講演していただきました



旧天竜市のみなさんとともに山小屋にて自然とふれあいました



浜岡原発の安全性を客観的に超党派で検討する勉強会の事務局を務めております。平成24年7月には川勝平太静岡県知事をお招きし、ご講演いただきました

城内 実 略歴

(きうち・みのる) 1965年4月19日生まれ。46歳。東京大学卒業後、外務省に入省。在ドイツ日本国大使館勤務、天皇陛

下、総理等のドイツ語通訳官を経て2002年に退官。地元の自民党支部長公募に応募。03年、衆議院議員初当選。05年、総選挙で748票差で惜敗。06年、拓殖大学客員教授に就任。09年総選挙で再選。これまで法務委員会、文部科学委員会、農

林水産委員会、郵政民営化特別委員会、環境委員会などに在籍。12年、自民党に復党。現在、衆議院法務委員会次席理事、党外交渉部長代理、内閣部会副部長、国際局長、中央政治大学院東海ブロック担当副院長に就任。

「国益と国民の生活を守る」 ぶれない!! 信念貫く!!

衆議院議員 城内 実君と語る会



平成24年6月、1800人にお越しいただいた地元浜松でのパーティーにて



平成24年3月全国TV中継の予算委員会、ご皇室、国防、TPPなどの問題について野田総理に直接質しました



法務委員会で小沢一郎氏の問題を追及しました。当選以来3年間で40度の国会質問の機会をいただいております

第45回衆議院総選挙(平成21年8月30日投票)			
静岡7区 小選挙区開票結果			
候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実	無所属	129,376	52.09%
齊木 武志氏	民主	63,116	25.41%
片山さつき氏	自民	54,128	21.79%
竹内 隆文氏	幸福実現	1,764	0.71%
有権者326020人 投票者数250190人 投票率76.74%			

4月郵政法案改正受け5月復党 主流派になり自分の政策実現へ

2009年の総選挙で2度目の当選を果たしてから無所属で活動していた城内氏。今年5月18日に自民党へ復党した。議員生活を送りながら、どういった心境の変化があったのか。またその中で安倍氏とはどう関わってきたのか。永田町で担当する番記者が聞いた。

「2009年、2度目の当選後も無所属議員として活動してきたのはなぜか。」

「政党内にばらばらに、より国民目線、市民目線で各政党の政策を評価できると考えたからです。」

「野田聖子さん、同じく郵政民営化法案に反対して自民党を飛び出した同志たちは、06年に当時の安倍首相の意向によって復党した。」

「僕にも安倍さんや、他の方からも『戻ってこないか』との誘いがあつた。でもまだ郵政法案はそのままだとしたし、09年に永田町へ戻ってからも、無所属ならではの行動ができると思った。」

「例えは。」

「国会で法案を成立させる際、党派に関係なく自分の考えで賛否を示す。それが民主党の法案で自民党が反対している。」

「『僕にも安倍さんや、他の方からも『戻ってこないか』との誘いがあつた。でもまだ郵政法案はそのままだとしたし、09年に永田町へ戻ってからも、無所属ならではの行動ができると思った。』

「何となく。」

「ある大物議員がギロリと『まさか民主の法案に賛成するとはね』と。当時、私はまだ自民党と一緒に会派を組んでいなかった。それでも『民主の法案だから反対!』

も、私自身じっくり考えた上で内容がよければ賛成。そうでなければ反対しました。」

「具体的には。」

「自民党が反対した高橋安房氏の無償化です。私は世界各國の流れを考えた上で、条件付きで賛成した。自民の議員からは嫌味を言われましたけど。」

「また、自分と同じ考えを持つ同志と会派を超えてつながりを築きたかった。これは政党に所属していたらやりにくい。」

「その成果はあったか。」

「おかげで2回目の当選から約3年。自、民間問わず各党に保守の考えを持つ同志はできました。」

「その一方で大変なこともあったのでは。」

「本会議で行う代表質問や、予算委員会での質問ができない。所属の委員会では与野党理事の厚

「『戻って今までの自民党に必要なものは何か。』過去に対する真摯な総括と反省です。現在の不景気、格差社会の原因をつくつたのは与野党時代の自民党。また安全神話のもとに、原発を推進してきた責任もある。」

「復党については、地元で批判もあるのでは。『自民党に戻ったことに対して『信念を貫いていないんじゃないか』という声も多少届きます。でもこれからは、組織の中で汗をかき主流派になることで自分の政策を実現することが大事。』

「それで理解は得られているか。」

「私の政策を実現できることが、地元のためになる。そう説明すると皆さん納得してくれました。『国益と国民の生活を守る。私の信念は決してブレていません。』

私の発案で命名した平沼赳夫先生、小泉龍司先生との無所属会派を「国益と国民の生活を守る会」控室前に、まさに私の信念です

意で40回以上、質問の機会を頂きましたが」

「無所属での行動に眼界を感じたことは。」

「眼界というより、だんだん組織の中で切磋琢磨する必要性を感じてきたことは事実。だから昨年12月、自民党会派に合流しました。」

「今年5月には自民党に復党した。」

「内容に完全に納得できた訳ではないが、4月に郵政民営化法案が改正されたの大きい。私の中では、無所属議員として仲間を集める段階から次のステップに進んだと考えている。」

安倍氏に3度逆らい、許される

区内を決める際、当時の幹事の安倍氏から「静岡7区は別の候補を支援する。君は当選確実な比例1位にするから」と勧められたが、再び断り小選挙区から出た。そして3度目はテレビで何度も放送されて有名になった2005年郵政法案の採決時。反対を思い

とどまらせるため、当時の安倍幹事長代理が本会議場の隅で説得した。だが城内氏はそれを振り切つて反対票を投じ、その後の離党へとつながった。

城内氏は安倍氏の魅力について「怒らないところが、まだ私の面倒を見てくれている。無所属で活動しているも、何度も『戻って来ないか』と声をかけて頂いた。懐かしくて涙が。一度逆らっただけで敵同士となつてしまつた。ある永田町で、3度も逆反した男が言うのだから説得力がある。立場が反対になることもある。今回の総選挙では出馬を考える安倍氏に、城内氏が『総理経験者が負ける政治生命に関わる』と断念を直談判。だが安倍氏は出馬を

敢行し当選。お互い相手の決意が固いと分かっているも、本気で説得する。これも信頼関係の証なのかもしれない。

城内氏は言う。『安倍さんは総理辞任で世間から叩かれ、辛い思いを味わって大きくなった。総選挙の遊説でも、拉致被害者 横田めぐみさんのご両親の話をした時、聞き慣れていたはずの私も涙に震えるものがあった。05年の選挙で浪人を経験。地獄を見た者には、同じく地獄を見た者の苦しみ、成長が分かるのだ。』

「『私の政策を実現できることが、地元のためになる。そう説明すると皆さん納得してくれました。』

「それで理解は得られているか。」

「私の政策を実現できることが、地元のためになる。そう説明すると皆さん納得してくれました。『国益と国民の生活を守る。私の信念は決してブレていません。』

5月に初の著書「政治家の裏事情」を出版しました。裏事情のようなタイトルですが、個人攻撃をしている訳ではなく、議員が世間に話したくないことを明らかにしたつもりです。

初の著書「政治家の裏事情」大好評発売中

選挙でかかる費用や、政党内に所属しているだけでも驚くべき数字が出てくる。調査したデータではなく、自分の数字だからすべて真実が書かれています。おかげさまで多くの方から反響が



長年お世話になっている星槎グループのご紹介で国民総幸福量（GNH）世界一「世界で一番幸せな国」ブータンの将来ある学生と懇談しました

政治家の裏事情



財布から選挙の戦略まで全部見せます！

全国の書店・インターネットで大好評発売中

幻冬舎刊（952円＋税）

2011年から今年の3月まで、浜松市は市制100周年という記念の年でした。本日は昨年に出そうと温めていた企画がやっと実現しました。それは浜松にゆかりのある戦前の78回転のSPレコードを集めて復刻するということ。蒐集仲間などにも協力頂き、24曲収録された「復刻盤 遠州・濱松の唄」がやっと完成しました。1930年の「浜松音頭」や、36年の「日本楽器

遠州・濱松の唄



浜松市制百周年記念

「浜松音頭」など24曲 自分で書き起こした歌詞カードも

やっと完成しました 復刻版 濱松の唄

1950年代中頃のパワーアンプ。電源部と出力部が別々になっている初期型の珍しいアンプです。これでそれぞれ50Wの出力があります



昭和8年に発売された浜松音頭のレコードと歌詞カードが付いているのはほとんどありません



78回転のSPレコードも聴ける1950年代のレコードプレーヤー



製造株式会社創業五十周年記念歌「53年のスズキ自動車」のフリー号行進曲など珍しい歌がたくさん。苦労したのは歌詞カードの作成です。付いていないSPレコードもあり、北原白秋記念館（福岡県柳川市）に問い合わせるなど手を尽くしました。ご希望の方は城内実事務所で、お問い合わせ下さい。



「妻は料理上手」と自慢ところが…



頻繁に出しているのが夫は「陽子さんの飯はおいしい」と思ってくれていて、いろんな支援者にも「妻は料理上手」と自慢してくれているようです。

で「奥さんの得意なメニューは？」と聞かれた夫は「ワカメサラダ」と言ったようで、周囲は大笑い。水で戻してドレッシングをかける。子供でも出来るような料理なのに、私には、とんだ赤っ恥です。



本人に悪気がないのは分かるのですが、出かける時も、左右で違う靴同士を履いて出て行ったり、どこか間が抜けていて笑っちゃいます。

お問い合わせ
【浜松後援会事務所・自由民主党静岡第7選挙区支部】
〒433-8112 浜松市北区初生町691-1
TEL(053)430-5789 FAX(053)430-5756
【国会事務所】
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館623号室
TEL(03)3508-7441 FAX(03)3508-3921
E-mail: info@m-kiuchi.com
URL: http://www.m-kiuchi.com



メール会員登録募集中！

城内みのるの最新の活動報告や、新聞・雑誌掲載情報などをいち早くメールでお知らせしています！



アクセスはこちらから！